

東京大学医学部附属病院で細菌検査を受けられた方へ

当院では、環境および臨床由来ステノトロホモナス・マルトフィリア (*S. maltophilia*) の薬剤耐性と遺伝学的背景に関する調査・研究を行っております。

【対象となる方】

2008年～2014年の間に本院にて細菌検査をされ *S. maltophilia* が分離された方。

【研究の背景および目的】

- ① *S. maltophilia* は、元来、河川水・土壌など湿潤な環境に生息するありふれた菌であり、病原性は低いと見なされてきました。しかし本邦における高度先進医療、移植医療などの普及に伴い *S. maltophilia* による日和見感染症や医療関連施設内感染症は増加しています。
 - ② *S. maltophilia* の治療薬の一つであるキノロン系抗菌薬に耐性を示す株が臨床において増加傾向にあり問題となっています。
 - ③ *S. maltophilia* にとって、環境は薬剤耐性遺伝子授受の温床と考えられています。
 - ④ 本邦における *S. maltophilia* の薬剤耐性傾向は諸外国と異なるとの報告があるため、本邦の *S. maltophilia* 感染対策は日本で分離された菌株の性状に基づき行う必要があります。
- 本研究は、環境および臨床から分離された *S. maltophilia* の薬剤耐性とその遺伝学的な背景や伝播経路を明らかにすることを目的とします。

【研究の方法】

この研究は埼玉県立大学の倫理委員会の承認のうえ実施されます。既に検査材料から分離された *S. maltophilia* を対象にして行う研究です。分離された菌株を主任研究機関である埼玉県立大学へ誰のものか分からない状態にして輸送します。患者様に新たにご負担いただくことはありません。

研究結果は、個人が特定できない形式で学会等にて発表されます。収集したデータと試料は厳重な管理のもと、研究終了後5年または研究成果の最終公表後3年を経過した日のいずれか遅い方まで保管保存されます。なお研究データをまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示します。ご不明な点がございましたら下記問い合わせ先までご連絡下さい。

20**年**月

【問い合わせ、苦情等の連絡先】

東京大学医学部附属病院 感染制御部 教授 森屋恭爾

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411

FAX：03-5800-8796